



もとはし つうしん

本橋通信

第42号
2024年2月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111／メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★



変わるもの、変わらないもの、変えてはならないもの…



皆さまこんにちは。本橋通信第42号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。時々、勤め人時代より何らかのご縁が続く方との打ち合わせで関西方面に出張します。新横浜から東海道新幹線のE席に乗り右手に富士山を眺めながら、(元浜銀マンなので)崎陽軒のシウマイ弁当を食べてと…ここまでは、十年前から変わらないスタイルです。しかし寂しいかな…ニュースでも話題でしたが、車内のワゴン販売の廃止で温かいコーヒーが飲めません。そう言えば、お弁当の具(値上げは許容範囲)もちょっと変わっている気が。それでも、車窓から見る広い裾野を含む富士山の姿は変わらず安心します。大阪梅田あたりの街並みも大分変わってしまって、完全にオノボリさん気分を味わって帰路です。久々にあのラーメンに行こ！と探すとありました。アルデ新大阪駅(御堂筋線～新幹線の途中)の神戸南京町「皇蘭」というお店です。ここは昔から夜遅くても、新幹線に飛び乗る前にいつも急いで寄って、ご飯が出来る場所でした。リニューアルして店は綺麗に変わっていますが、味と場所は変わらずでホッとしました。形は変わっても無くならないものもあります。前出の温かいコーヒーはホームの自動販売機で、のぞみ・ひかりブレンド他数種類で復活。名物のシンカンセンスゴイカタイアイスも、「ど冷えもん」なる冷凍食品用の自販機にて



健在です。社会の変化に合わせて少しづつ変える… 何気ない日常がある日を境に急に変わる… 先のことなど誰にもわからないからこそ、いつもの場所でいつもの感じで…という安心な存在感は大切なのかな～と感じました。私もご縁があった方々にとって、自分の仕事をそう感じてもらえるよう、世の中の変化に応じて変えるべきこと/変えないこと、そして「変えてはならない」ことを整理してみたいなど。



MFAO(Motohashi Financial Advisors Office)の本棚より



読みやすい資産形成本シリーズ…無理なく貯めて賢く増やす『パックン式お金の育て方』(著:パトリック・ハーラン)をご紹介します。パックンはハーバード大学卒の芸人です。お金との付き合い方の基本は、Don't feel, think!(感じるな、考えろ)だと言います。映画「燃えよドラゴン」のブルース・リーの名台詞の逆。感情に流されではお金では失敗するので、きちんと自分で「理解して、考えて、判断しましょう」という事ですね。未来の自分に感謝されるための「老後計算機」、もっとお金のことを家族・子供と話そう…や、収入の3割をまず投資、5割で生活、残り2割で娯楽にという「3・5・2の法則」も若い方々の投資脳には良いですね。印象的なフレーズ、「お金の元(もと)持ちになろう」では、自分が働くなくても収入が確保できるパッシブインカムを作るです。でも、FIRE(経済的自立と早期退職)はオススメではない。最後の章はパックン投資法の紹介ですが、所謂フツーの「長期・分散投資」他とオーソドックスな内容。でも積立投資は賛否両論です…若い世代は収入からの天引きで少額でも今すぐスタートを！ / 余剰資金がある方は機会損失を避けるべく今すぐにスタート！ いずれも共通のポイントは、長期で続けてと言っています。合理的な米国人のパックンらしく、推しの投資は低コストのインデックスファンド(S&P500)のようですが、幼い頃からお金に苦労した彼らしく、世話になった企業へ応援投資や恩返しができるようになったら感謝の寄付も忘れずに…と。一貫しているのは、少し悲観的に「謙虚な資産形成」を心がけることで、逆に大きな安心感を得られるという点。誰でも感覚的にお金の付き合い方が理解できそう。



IFA(Independent Financial Advisor)本橋の視点より

共同通信社さま経由にて、各地方新聞紙面「ライフセミナー」コーナーに掲載されましたコラム：投資も習うより慣れよ！

Q. 今度こそ「投資デビュー」がしたいのですが…

A. 政府の「資産運用立国」政策や、投資家にとっての目玉企画2024年からの新NISA(少額投資非課税制度)PR合戦もあり、これから投資を始めたいというご相談が多くなってきました。遂に一般生活者も「貯蓄から資産形成へ」と踏み出す良いきっかけとなりそうです。私が投資を始めた約30年前は、証券会社の店頭に印鑑や銀行の通帳持参で出向くという、とても敷居が高い一歩だった記憶があります。当時の証券会社の店頭の光景は、株価ボードを眺めるオジサンで溢れ、ついたての向こうでは、「今日の銘柄は〇〇だ！手当たり次第リストに電話しろ。丸い客を転がせー！」との罵声がまる聞こえです。因みに丸い客を転がすとは、株式や投資信託の銘柄を次々と乗り換えを勧める「回転売買」かと思います…

今やスマホ片手に僅か数分で証券口座が開設可能で、様々な取引も圧倒的低コストと信じられないほど金融サービスの進化です。ただ投資家デビューの最初の一歩は、まだ心理的ハードルが高いようです。そんな時は、何を目的に始める資産形成なのか…初心に戻ってお金との向き合い方の「軸」を明確に。何から始めればいいのか…日常生活での好奇心を大切に。身の回りに溢れる海外企業の製品やサービス、随分繁盛している店だけど等、様々な企業活動がもたらす恩恵に興味のアンテナを張ってみることも大切です。そして、何と言っても無理のない範囲で少額からでも、まずは自らのお金を投じてみる。どんな目的で始め、大切なお金の置き場をどういう価値観で考えるか。アレコレと習うより、慣れてしまおう「資産形成のすゝめ」こそ、実践的で知的経済活動のスタートです。(独立系ファイナンシャルアドバイザー 本橋竜一)

★★

今年こそ、ノウハウコレクターを卒業して、真の資産形成に挑戦したい方を応援します！いろいろな情報が溢れ、しかも簡単に手に入るという便利な世の中ですが…大切なのは、少額でもご自身で考えてやってみる。そして、長く続けるです。

◆編集後記◆

昨年末近くのある日、かねてより行きたいなと思っていたSOMPO美術館に「ひまわり」を観に行きました。ちょうどゴッホと静物画展の開催期間もあり、「アイリス」と「ひまわり」が並び展示されるという貴重な空間でした。静物画は日用品・食べ物(果物・パン)等、生命をもたず動かないものを描いた西洋絵画の分野で、全体的に暗めの絵が多いという印象ですが、この2点の存在感はひときわ際立っていました… 構図が類似？ アイリスとひまわり▶



◆今後本通信をご希望されない方は、お手数ですがお知らせ下さいますようお願い致します◆

【発行者プロフィール】

本橋 竜一(もとはし りゅういち)、1974年4月19日生まれ。東京郊外八王子の高尾在住。

早稲田大学卒業後、横浜銀行で金融マンとして社会人をスタートしました。その後、国内

(あおぞら銀行、みずほFG、三菱UFG)、外資系(スイスUBS)金融機関にて、約15年間に

渡ってプライベートバンкиング(ご資産家のお客さま専用金融サービス)を経験し、

ファイナンシャルアドバイザーとして独立開業。家族は妻、娘、息子の4人。

趣味はエンジョイゴルフ(スコア3桁でも緑の芝で気分爽快！)と読書(ジャンル無差別:乱読・積読?)

お客さまに対する想い:人生に専属のファイナンシャルアドバイザーがいる安心感を提供したい…



本橋FαオフィスWEBサイトは **本橋 IFA** と検索！ <https://www.pfa-withyourlife.jp/>

皆さまからのご感想・ご要望をどんどんお寄せください。

➡ 本橋携帯:090-7909-2111 メール:information@pfa-withyourlife.jp